

2ハンドルバス水栓

一般地用

BF-J090B

寒冷地用

BF-J090B-U

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

施工の前に

安全上のご注意

施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

△ 注 意

給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。 正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。	禁止
湯水を逆に配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てヤケドすることがあります。	
給湯器の給湯温度設定は85℃以下でご使用ください。 水栓が破損し、漏水のため家財に損害を与える恐れがあります。	
水栓の上に物を落したり衝撃を与えないでください。 水栓が破損し、故障や水漏れの原因になります。	
水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。【寒冷地用】 湯水が噴き出し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。	分解禁止
修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。 (寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。) 凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	必ず実行

本製品の仕様と使用条件

使用最高温度	80	使用可能水質	上水
使用環境温度	【一般地用】BF-J090B : 0～40 (注1) 【寒冷地用】BF-J090B-U : -20～40 (注1)		
給水 給湯 接続	R1/2(PT1/2)	圧 力 条 件	給水圧力 給湯圧力

(注1)但し、内部の水を凍結させないでください。

ガス給湯器(比例制御式：16号相当)と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	$A + 0.05\text{MPa} \{ 0.5\text{kgf/cm}^2 \}$
最高圧力	$0.75\text{MPa} \{ 7.6\text{kgf/cm}^2 \}$

Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

測定条件は次の通りです。

湯側ハンドルは全開です。

給水温度5℃、吐出温度42℃(ガス給湯器との組み合わせが最も悪い冬季を想定)

給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。

ガス給湯器の設定温度は最高温です。

貯湯式温水器と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	$0.05\text{MPa} \{ 0.5\text{kgf/cm}^2 \}$
最高圧力	$0.75\text{MPa} \{ 7.6\text{kgf/cm}^2 \}$

その他の条件

給水圧力が $0.75\text{MPa} \{ 7.6\text{kgf/cm}^2 \}$ を超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20～0.39MPa{2.0～4.0kgf/cm²}程度)に減圧してください。

給湯に蒸気は使用できません。

給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。

温度調節を容易にするため、給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。

施工前のご注意

施工途中、施工後の漏水確認や温度調節、ストレーナーの清掃を行うために通水が必要です。
水道工事と浴槽取付工事は、十分に工程を打ち合せのうえ行ってください。

給水は、上水道に接続してください。

温泉水などの異物を多く含む水には使用できません。

給水配管、給湯配管が正しく配管されていることを確認してください。

逆配管では表示通りに湯が出ません。

給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。

商品の表面には、直接工具を掛けしないでください。

工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。

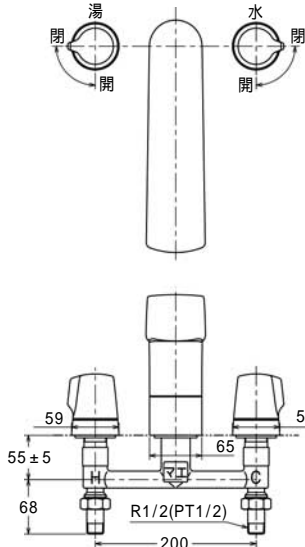
開梱・取付けの際には商品の表面に傷を付けないように十分注意してください。

取付け後の保守点検や流量調節のために必ず止水栓(別売)と点検口を設けてください。

必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

施工完了図

BF-J090B(-U)



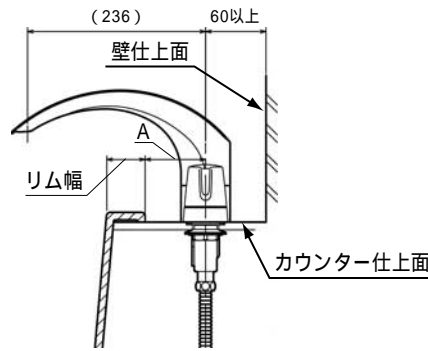
天面を石材で仕上げる場合の穴開け寸法は、吐水口： 38～ 44、ハンドル： 32～ 44で行ってください。

施工方法

1

取付位置の決定

A寸法は浴槽のリム幅によって異なりますが、最小でも40mm以上は確保してください。また、リム幅+A寸法が150mm以下になるように設定してください。



注意

必ず左図の寸法の範囲内で施工してください。
芯出しが不十分ですと水栓の取付けや浴槽内への吐出の障害となる恐れがあります。

2

給水・給湯配管の接続

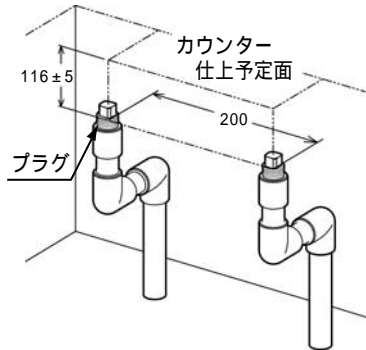
1.

給水・給湯配管の取付け

接続ソケット上端とカウンター仕上予定面までの寸法が $116 \pm 5\text{mm}$ になるように施工します。

注意

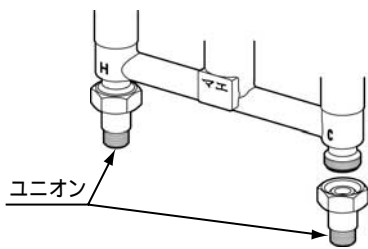
接続ソケットにユニオンを取付けるまではプラグを付けておいてください。



2.

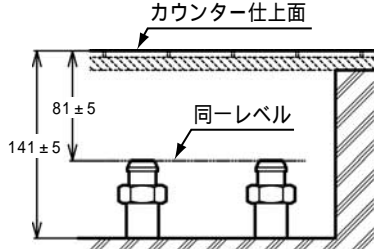
ユニオンの取付け

接続ソケットのプラグを取外し、同梱のユニオンをカウンター仕上予定面までの寸法が $81 \pm 5\text{mm}$ になるように取付けます。



注意

湯側・水側ユニオンの取付高さが同一レベルになるようにしてください。
必ずカウンター仕上材の厚みを見越して位置出しをしてください。



3

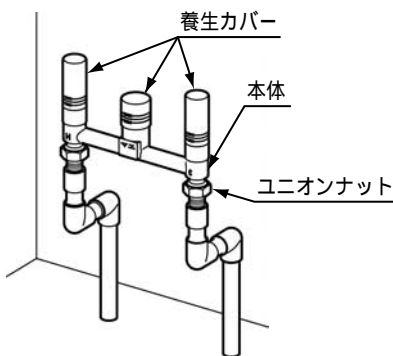
水栓本体の取付とカウンター仕上げ

1. 水栓本体の固定

ユニオンナットで水栓を給水・給湯配管に接続し、水平になるように調節します。

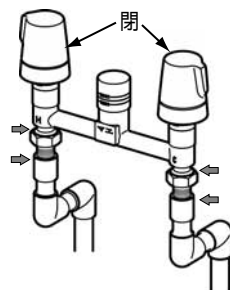
注意

本体に表示してある「マエ」を浴槽側に向けて取付けてください。逆に取り付けると、吐水口が取付けできません。



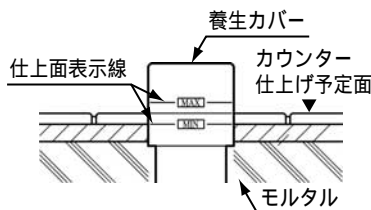
2. 漏水の有無の確認

養生カバーをいったん外し、ハンドルを仮付けします。埋込配管部に通水して、水漏れのないことを確認します。



3. 埋戻し

養生カバーをもとの位置に戻し、養生カバーの「仕上げ面表示線」範囲内にカウンター仕上げ予定面が収まるように埋戻しをします。



注意

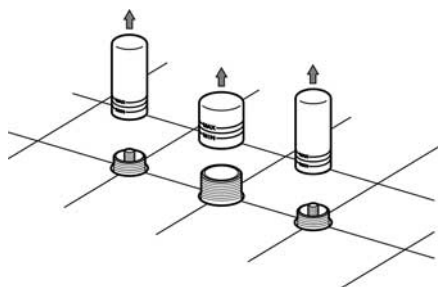
養生カバーの内側にモルタル等が入り込まないように注意してください。

4. 養生カバーの取外し

養生カバーを外します。

注意

外れにくい場合は少しゆすりながら外してください。

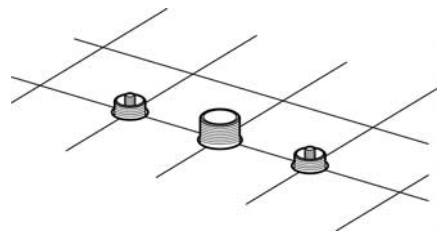


5. カウンター仕上げ

カウンター仕上げをします。

注意

カウンター穴あけ寸法は「施工完了図」を参照してください。



4

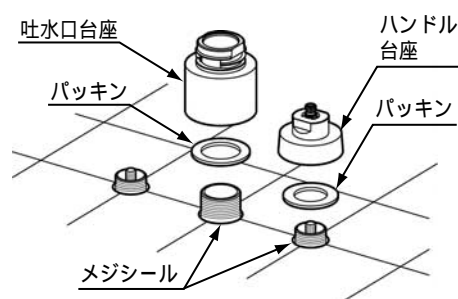
吐水口とハンドルの取付け

1. 台座の取付け

目地のくぼみから水が入り込まないようにメジシールを塗布してから、台座を取付けます。

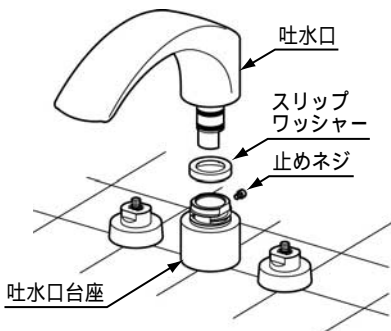
注意

はみ出したメジシールはよくふき取ってください。

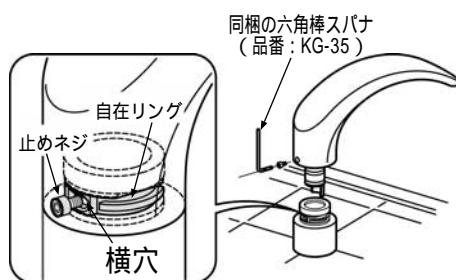


2. 吐水口の取付け

台座にスリップワッシャーと吐水口をはめ込み、止めネジで台座に固定します。



ポイント



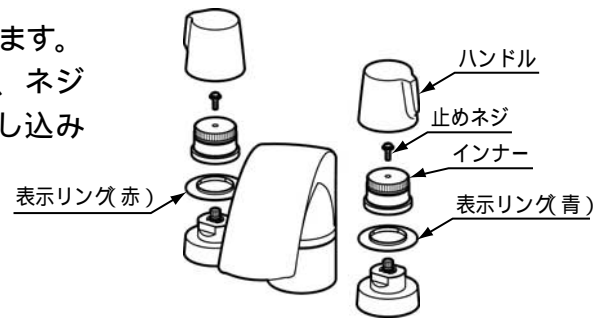
止めネジ取付けの際はネジが自在リングの横穴に入るよう位置を合わせてください。

3. ハンドルの取付け

表示リングを台座にセットします。インナーを台座にセットし、ネジで固定したらハンドルを押し込みます。

注意

ハンドルの向きは「施工完了図」を参照してください。



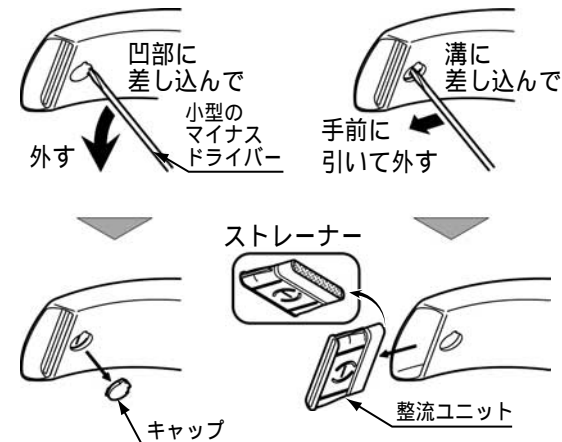
施工後の調節

吐水口ストレーナーの清掃

ストレーナーにゴミが詰まると十分な流量が得られず、機能を低下させます。右記の手順で吐水口先端の整流ユニットを取外して、ストレーナーに付いたゴミを水で洗い流した後、元の位置に取付けます。

注意

取付けの際は整流ユニットを最後までしっかり差し込み、キャップをパチッと音がするまではめ込んでください。



引渡前の確認

お客さまに引き渡すまえに以下のような現象がないか確認してください。

現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か？		「本製品の仕様と使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	整流ユニットにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	②	キズがあれば部品を交換する。

点検箇所は下図を参照してください。

スピンドル部は専用工具「KG-5」にて取り外してください。

